

議案第 1 号

令和 2 年度事業報告

令和 2 年度は、コロナに始まり、コロナに振り回され、予期せぬ事態に様々なイベントや講習会、野菜市等を中止せざるを得なくなりました。また、その影響もあり、受託事業の売上も約 1,824 千円の減となり、派遣契約においても約 410 万円の減額となりました。しかし、**新規会員数は、例年の 2 倍**もあり、未就業会員さんはじめ、新たな会員さん達の中で、1 人でも多くの方にお仕事をご紹介できるように努めて参りました。

近年は、高齢化もあってか、就業中の事故や派遣先での事故が大変増えております。季節に応じて、「いきいき通信」や県シ連から届くチラシ等で注意喚起を行っていますが、まずは、一人一人が「自分の命は、自分で守る」ことをしっかりと認識し、日々の健康を願いながら、以下の事業を行いました。

1 組織運営体制強化

(1) 会員増強

町内に住む 60 歳以上の健康で働く意欲があり、幅広い能力を持つ方々へ入会を勧め、常時 200 名の会員確保のために下記の活動を行いました。

- ・町広報を活用した PR (12 回) 及びホームページやスマホによる PR を行いました。
- ・独自チラシの作成及び配布を 2 回行いました。
- ・一会員一就業先開拓運動の推進を継続して行いました。
- ・ハローワーク金沢 (月 2 回) 及びハローワーク津幡 (月 1 回) にて、雇用保険受給者への入会説明会を行いました。
- ・講習会の開催と合わせて、入会促進を行いました。
- ・**会員のポイントシステムを来年度から開始**することを決定しました。
- ・退会者の抑止として、8 月に会員相談日を設けました。

(2) 事務局体制強化

役員・会員で構成された専門委員会による積極的な事業運営の取り組みを行いました。

(3) 会員による自主運営確立推進

見積もり・現場管理・業務完了確認など、可能な限り「会員が運営するシルバー人材センター」という認識を浸透させることで自主性を喚起し、より働き甲斐と喜びの機会を提供しました。

2 就業機会の開拓

- ・会員による1会員1就業先紹介運動の推進を継続して行った。
- ・他団体会議等でシルバーのできることをPRした。
- ・季節ごとに(剪定・雪吊り・除草・除雪等)予約募集活動を行った。
- ・ホームページ及びスマホの活用による周知も行った。
- ・石川県シルバー人材センター連合会と連携して、「障子張替講習会」を行った。
- ・内灘町と連携した「空き家管理業務」の周知強化を行った。
- ・ふるさと納税返礼品として「お墓清掃代行サービス」を開始した。

3 会員の安全・適正就業に関する意識・知識の向上

事故ゼロを目指し、下記の事業を行った。

- ・リーダーによる朝礼・終礼の徹底（現場指示、注意事項の伝達等）
- ・柔軟体操の励行
- ・会員への賠償事故防止対策指示の徹底と現場管理を行った。
- ・安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールを6回行った。
- ・安全・適正就業委員会による事故原因の追究と再発防止を
- ・「いきいき通信」を活用し、季節に応じた安全就業の徹底、注意喚起を行った。
- ・「適正就業ガイドライン」の遵守

4 普及啓発

- ・センターのPRを兼ね、除草ボランティアを行った。
- ・チラシで作るゴミ入れの配布（配布先：内灘町役場、介護施設等）を行った。
- ・一会員一就業先開拓運動の継続実施した。
- ・全戸配布チラシ（2回）によるシルバー人材センター周知を行った。
- ・シルバーの活動内容をお知らせする機関誌の発行（全戸配布）
- ・内灘町広報等によるセンター事業のPR（12回）
- ・ホームページやスマホによる周知を継続して行った。

5 その他

- ・新聞バック作り講習会の開催（3回）を行った。
- ・派遣事業の拡大を模索した。